

# 2017 f高 トピックス

11月-②

## 看護科3年生 特別授業：Dr.による講話『がんの予防と治療』

11月17日、看護科3年生の授業に特別講師：医学博士の片山先生がいらっしゃいました。

片山先生は、神奈川県立がんセンターの臨床研究所で最先端のがん研究をおこなっており、治療の改善や新薬開発など様々な研究に携わっておられます。

今回は、本校の3年生を対象にがんに対する正しい知識や予防と対策、又、ワクチンのことなどお話して下さいました。



《Q.何%の人ががんになるのでしょうか?》



《A.生涯でがんにかかる確率は、2人に1人と言われています》

がんを予防するには生活習慣の見直しの他、ウイルスや細菌の感染予防と治療、又、定期的な検診などもあります。

がん検診の中にはスクリーニング法といって、少量の採血から調べる検査も開発しているそうです。



《健康なうちにがん検診へ行った人は、がんを発見してもその後の生存率は高いです》



もしがんになっても“がんと共に生きていく時代がきている”と考える片山先生。

神奈川県立がんセンターでは相談支援と共に標準治療として、がん免疫法を行うのがんワクチンセンターも設立されています。



気が付いたことはメモメモ...



今回の講話を聞き、医療への道によりいっそう意欲を増した生徒達。

がんに対して漠然だった知識も深い学びのきっかけとなりました。患者様に寄り添う心も忘れずにね!

